

【高齢者生活支援ガイドブックの概要】

1 目的

65歳以上の高齢者が日常生活の中で困った時の相談窓口、生活支援サービス、介護保険、その他の情報をわかりやすくまとめた冊子を作成し配布することで、安心した生活を送ることができるように支援する。

2 配付対象者

- (1) 平成29年3月31日を基準日とし、65歳以上の高齢者がいる世帯の世帯主
(約13,750世帯)
- (2) 市内関係機関（地域包括支援センター、医療機関、居宅介護支援事業所、特別養護老人ホーム）

3 掲載内容

- ・相談窓口の連絡先（地域包括支援センター、民生委員など）
- ・生きがいづくり（老人クラブ、シルバー人材センター、まちづくり出前講座等）
- ・市の生活支援事業
- ・総合事業について
- ・認知症について
- ・権利擁護について
- ・南相馬市社会福祉協議会の福祉サービスについて
- ・その他（介護保険事業所・医療機関の一覧）

4 作成にあたって（高齢者が読みやすい内容にするために）

- ・掲載順序の工夫（相談窓口→元気高齢者→在宅→介護が必要な方）
- ・サービス等の相談窓口については、各項目の始めに記載
- ・おもいやり駐車場制度について、ステッカーの写真を掲載することで分かりやすく
- ・認知症の項目については見開きにし、具体例を盛り込みながら相談窓口等記載
P26 医療機関一覧の中でも、認知症について相談できる医療機関を「★」で紹介
- ・医療機関一覧について、市内医療機関に照会をかけ最新の情報を掲載。記載事項を簡潔にすることで、高齢者でも見やすい内容に
- ・項目ごとにインデックスをつける
- ・字体は大きく丸みを帯びたものにし、随所にイラストを用いることで全体的にやさしい印象に
- ・オレンジを基調とした色合いにすることで、暖かいイメージに

5 配付後について

各サービスの問い合わせや利用希望者が増加。今後も、市民や関係機関の方々から意見をいただき更新することとする。